

まほろば秦野通信

令和4年11月29日

タイトル	在宅医療・介護連携 市民参加型公開講座 「最期まで自分らしく暮らし続ける」を開催
When (いつ)	12月11日(日曜日) 14:00~16:00
Where (どこで)	秦野市保健福祉センター 3階 多目的ホール (所在地: 秦野市緑町16-3)
Who (だれが)	・NHKエンタープライズシニア・プロデューサー <small>しもむら</small> 下村 <small>さちこ</small> 幸子氏 ・在宅医療を経験した家族と医療介護関係者
What (なにを)	講演会及びシンポジウム
How (どのように)	多くの看取り現場に寄り添いながら撮影された映画『人生をしまう時間』の監督・下村幸子氏を迎え、市民の皆さん・地域の医療・介護の関係者と「自分らしい生き方・暮らし」について考えます。 【定員】150人 【費用】無料 【申し込み】高齢介護課または秦野伊勢原医師会(0463-82-2560)に電話、もしくは電子申請で申し込み。
Why (なぜ)	医療と介護両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅での療養が必要となったときのサービスの適切な選択方法や終末期ケアの在り方、在宅での看取りについて普及啓発するものです。
過去の実績	令和3年度に地域住民が人生の最終段階におけるケアの在り方や在宅での看取りについて考える一助となるよう、市民及び関係者向けに映画「人生をしまうとき」(監督 下村 幸子氏)を上映しました。
今後の取り組み	地域住民への普及啓発や在宅医療介護連携推進事業の一部を秦野伊勢原医師会に委託し、協力しながら推進していきます。
ホームページ URL	https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142115-u/offer/offerList_detail.action?tempString=ShiminkoukaiKouza
問い合わせ	高齢介護課 高齢者支援担当: 金井 電話: 0463(82)7394

「最期まで自分らしく暮らし続ける」

誰もが望んでいる穏やかな生活を送りながら、自分らしく『最期まで生きる』ためにどこで誰とどんなケアを望むのか一緒に考えてみましょう。

多くの看取り現場に寄り添いながら撮り続けてた映画『人生をしまう時間』の監督 下村幸子氏を迎えて、市民の皆さん・地域の医療・介護の関係者と「自分らしい生き方・暮らし」について考える機会となります。

ご家族・ご友人とお誘いあわせの上、是非ご参加ください。

入場
無料

日時：令和4年12月11日（日）14:00～16:00

会場：秦野市保健福祉センター
3階多目的ホール

定員：150名



開場 13:30

第1部 14:05～14:45 講話

下村 幸子氏（NHKエンタープライズシニア・プロデューサー）

第2部 14:45～15:45 シンポジウム

～語り継ぐ命と物語～

本人の意思決定により在宅療養を選択された方のご家族を迎え「最期まで自分らしく生きる」ことを支えた在宅医療と介護の現場を知り、自身や家族にとっての生活について考え意見交換をします。

<シンポジスト>

○ご家族と医療・介護関係者

○下村 幸子氏（NHKエンタープライズシニア・プロデューサー）

申込URL:

電子申請または電話

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142115-u/offer/offerList_detail.action?tempString=ShiminkoukaiKouza

一般社団法人秦野伊勢原医師会
在宅医療連携相談窓口
☎0463-82-2560

申込QRコード



秦野市高齢介護課
☎0463-82-7394

申込
方法